

生駒市eCO補助金

eCO補助金をうまく使ってエコライフをはじめましょう!

おひさまでおうち発電 太陽光発電システム

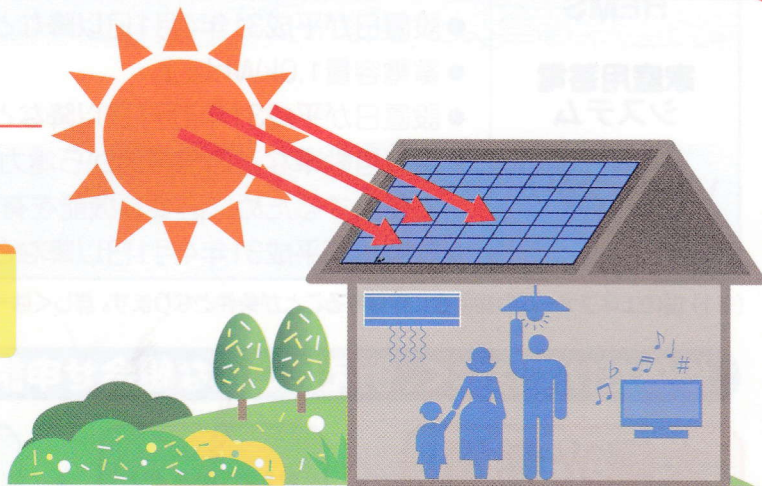
太陽光エネルギーを電気に変換します。

メリット

- CO₂などの温室効果ガス発生ゼロ
- 余った電気を売電

補助
金額

1kWあたり2万円
(上限10万円)



ガスで電気をつくる家庭用燃料電池 エネファーム

ガスの中に含まれる水素を利用して発電し、その時に発生する熱でお湯を沸かすことができます。

メリット

- 高いエネルギー効率で省エネ
- 災害時の電力源

補助
金額

1件あたり5万円

エネルギーが見える化 HEMS (へむす)

電気の使用を「見える化」し、エネルギーを管理します。

メリット

- 省エネ意識の向上
- 家電の自動制御による節電

補助
金額

設置に要する費用の額
(上限1万円)

電気自動車から家庭へ給電 V2Hシステム

V2H(ビークル・トゥー・ホーム)システムは、電気自動車の大容量バッテリーから家庭に電気を供給する仕組みです。

メリット

- 電気代の節約
- 停電時の電力源

補助
金額

1件あたり5万円

災害時にも安心 家庭用蓄電システム

電気を貯めておき、夜間や停電時など必要に応じて効率よく利用できます。

メリット

- 再エネの有効利用
- 一時的な停電の備え

補助
金額

1kWhあたり1万円
(上限6万円)

受付は全システム先着順、予算額に到達次第終了します。
(全システム、対象は未使用品・設置後の申請になります。)

対象システム

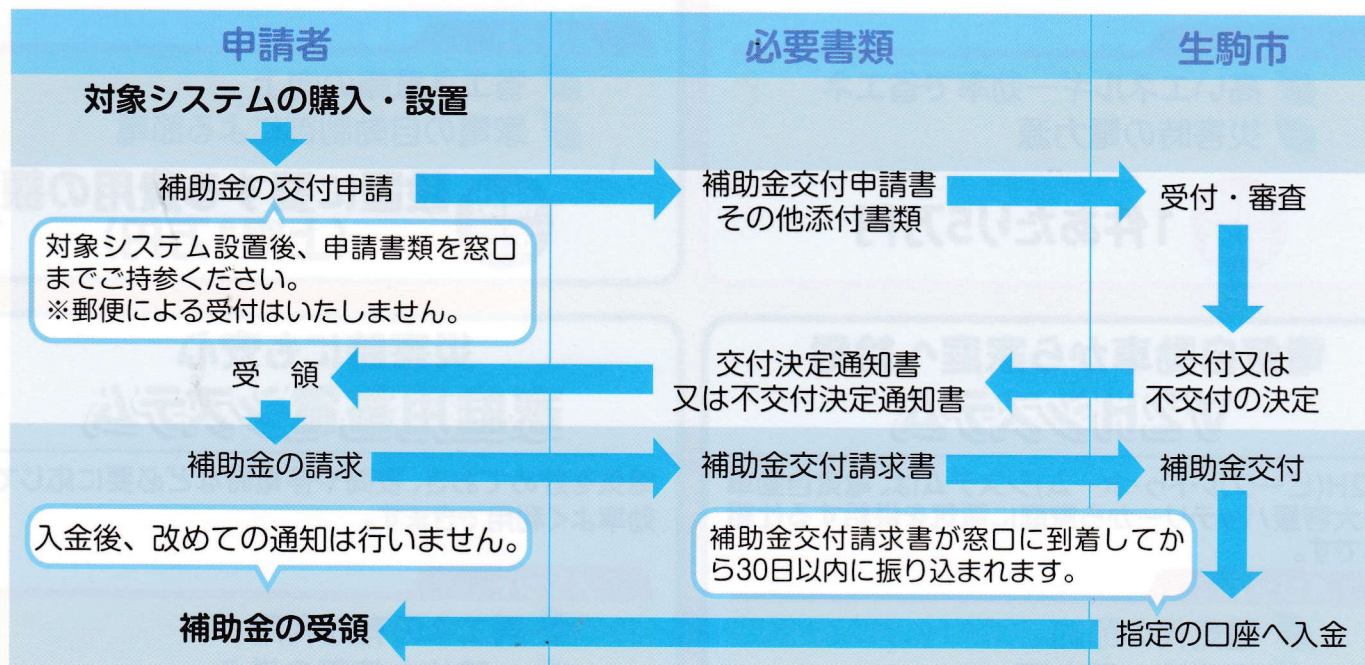
太陽光発電システム	● 太陽電池の最大出力が2kW以上10kW未満 ● 電力会社との電力受給開始日が平成31年3月1日以降など
エネファーム	● 国の補助対象システム(※1) ● 国の補助金額の確定通知日が平成31年3月1日以降など
HEMS	● ECHONET Lite規格を標準インターフェイスに搭載しているもの ● 設置日が平成31年4月1日以降など
家庭用蓄電システム	● 蓄電容量1.0kWh以上 ● 設置日が平成31年4月1日以降など
V2H システム	● 電気自動車などの蓄電池から電力を取り出し、分電盤を通じて住宅の電力として使用するために必要な機能を有すること ● 設置日が平成31年4月1日以降など

(※1) 国のエネファームの補助金に申請することが条件となります。詳しくは一般社団法人燃料電池普及促進協会 (FCA) にお問合せください。

単体だけではなく、例えばこんな組合せ申請も可能



申請から補助金受領までの流れ



ご相談・お問い合わせはお早めに!

受付期間 令和元年5月15日(水)～令和2年3月31日(火)

受付時間 AM8:30～PM5:15(土・日・祝日・年末年始は除く)

〈問い合わせ先〉

生駒市役所 環境モデル都市推進課(2階22番窓口)
 〒630-0288 生駒市東新町8-38

TEL 0743-74-1111 (内線376)

生駒市ホームページで交付要綱等の補助金に関する詳しい情報を公開しています。申請書様式などのダウンロードも可能です。

<http://www.city.ikoma.lg.jp/>